

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		5	利用定員10名の場合、2名以上がパニックを起こすと切り替えに使うスペースが不足する。
	2 職員の配置数は適切であるか	5		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	4	トイレが和式だったものを洋式に変更していて、高さが合っていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	2	清潔になるように心がけている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	到達目標を把握している。常に共有し参画できている。まだ全員が情報を共有できていない部分がある。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		送迎の際にも、保護者様からの意見を職員一同共有している。保護者様の評価を見ながら改善に努めていきたい。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		ホームページで公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	1	

適切な支援提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4	様式はあるがアセスメントで聞き取る情報の見直しを行いたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		地域支援に至っては、行えていないと思う面もある。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	3	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		必ず相談を行うようにしている。平日・休日の活動内容をスタッフ全員で考えている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		日々の個別支援や自立課題に力を入れている。マンネリ化しないように工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	2	長期休暇、土曜日などは直接支援の時間も長くとれるため、ショート、ロングの活動を組み合わせている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		朝のミーティングで本日の仕事、おやつ、自立課題などの確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		職員間で確認しながら記録を残している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	児童発達支援管理責任者及び、子どもの状況を理解できているスタッフが参画している。	

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	3	常に連携を取り、支援に努めている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	3	今のところ該当する児童はいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	3	今のところ該当する児童はいない。
	25	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	必要性がある場合は情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		必要性がある場合は情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		専門機関と連携を図り、助言を受ける機会はあるが少ないと感じている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	コロナ禍の為、実施できていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	2	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	3	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	2	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	コロナ禍の為、実施できていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		相談があった際は、状況説明の出来るスタッフが迅速に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3		ブログやお便りなどを作成し、情報をわかりやすく発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3		スタッフ全員、入社時に誓約書を記入し注意を徹底している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	コロナ禍で地域交流が難しい。
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		避難訓練・消防訓練と年2回の訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5		服薬やてんかんなどをお持ちの児童について事前にしっかりと確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		医師の指示書などはないがアセスメント時にアレルギー等を確認し一覧を作成し、おやつなどの保管場所近くに掲示し日々確認できるようにしている。

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		事例が起こった際には、スタッフ間での情報共有と共に記録の作成も行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	虐待の研修を受講し、虐待チェックリストも活用している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	3	2	現在は身体拘束の該当児童がいないが、研修等に参加をし、適した対応が出来る様に努めている。